

# スマイルのたね

マンスリーたかつ

保護者・地域の皆様

神奈川県立高津養護学校

平成 29 年度 9 月 15 日発行

## 管理職コラム

2学期が始まり、子どもたちの元気な姿が戻ってきました。やはり、子どもあつての学校だなと感じます。子どもたちの成長した姿を目にすると、教員としてたいへん幸せな気持ちになります。夏季休業中には、子どもたちは大きな事故やけがもなく、安全に過ごすことができました。保護者の皆様、地域の皆様のご配慮に深く感謝申し上げます。

さて、この度本校では、新規事業として月1回の「学校だより」発行を企画いたしました。今まで十分に発信されていなかった情報、例えば、校務グループ（教育推進、学習支援、支援連携、学校管理）の取組や、食育・防災関連の情報等も含め、紙面の都合等により学年のたより等でお伝えすることが難しい情報について、改めて整理し、皆様にわかりやすくお伝えすることを目指します。

皆様と情報を共有し絆を深めながら、子どもたちを共に見守り、育んでいければ幸いです。今後とも本校の教育により一層のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



校長 佐藤 雅己

## 校務C 「防災備蓄品3日分って、なぜ？」

毎年9月になりますと、防災特に地震に対する備えが話題になります。94年前の9月1日に関東大震災が起こったことを忘れないようにと、9月1日が『防災の日』に定められたからです。全国各地で様々な防災訓練が行われ、本校でも8日（金）にはマメールを利用した緊急連絡訓練を実施しました。ご協力ありがとうございました。

さて、もし大震災が起きたらどうするか、ご家庭ではいろいろと備えをされていることと思いますが、備蓄品は何日分用意されていますか？マスコミの各種アンケートでは、平均して約半数の方が3日分程度の水・食料をストックされているそうです。では、なぜ3日なのでしょう。それは国や自治体が3日分の備蓄を推奨しているからなのですが、“3日分”の前に【最低】というとても重要な語が書かれていることをご存知でしょうか。

そもそも“3日分”の根拠とは、発災後行政（国や自治体）に災害対策本部が立ち上がり、避難所の運営が軌道に乗り始めるまでに最低3日はかかるだろうという推定に基づきます。問題は、はたして3日間で避難所設営が順調に行われ支援物資も十分に供給されるようになるのか、ということです。発災の時刻が平日の昼間、自治体の職員が勤務中ならば災害対策本部の立ち上げもスムーズでしようが、発災時刻が休日や夜間であったなら職員が役所に参集するのにどれだけかかるでしょうか（これは本校職員にとっても大きな課題で、対応を検討中です）。また私の知る限り、在宅避難者を含めた避難者用備蓄品を3日分用意できている自治体は多くはありません。避難所に行けばどうにかなる、3日たてば救援物資の心配はないという保証はないのです。川崎市は「出来れば7日分以上」の備蓄を勧めています。本校（分教室を含め）では、PTAの協力や県の支援を受けて備蓄品の量・質の向上に努めています。

学校管理 毛塚康明



## 学部☆高津花だより



2学期始業式の朝、本校の児童生徒をたくさんのお花が出迎えました。

まずはひまわり。高等部環境整備班の生徒が「**高津ひまわり化計画**」を掲げて、4年前から校内のあちらこちらでひまわりを育てています。今年もたくさんのおまわりがすくと立ち上り、太陽に向かって花を咲かせて、元気のエネルギーを送っています。

続いて**あさがお**。中学部農園芸班の生徒がポットに種をまき、途中でプランターに植えかえをして育ててきました。グラウンドの体育館寄りのフェンスにつるをからませ、7月末ごろから咲き始めました。今は競い合うかのように次々と花が咲いて、心をなごませてくれています。

5月に高津ロータリークラブの皆様と、高等部環境整備班とで植え付けたブルーサルビアやジニア（百日草のなかま）も暑い夏を越して、グラウンドの花壇をにぎやかに彩っています。

もうしばらくこれらの花々を楽しめますので、学校に来校される際には、ぜひご覧ください。



## 進路より

夏季休業中の企業・施設見学会や進路研修会など、進路の活動に参加とご協力をいただき、ありがとうございました。高等部3年生、分教室2・3年生は、10月から後期現場実習も始まっていきます。引き続きご協力をいただくことも多くなるとは思いますが、どうぞよろしくお願いたします。



さて、今月は高等部、分教室の夏季休業中の進路活動の様子をご紹介します。7月には企業見学会(株式会社ビジネスメイト・株式会社AOKI)、8月には3年生対象の職業相談(求職登録)、川崎市就職セミナーへの参加をはじめ、随時、希望先となる福祉施設見学を行ってきました。

各関係機関や企業、福祉施設の方から、卒業後の社会目線に立って学校生活を送ることの大切さなど進路にかかわる詳しい話を伺える機会につながったと思います。また、卒業生のアフターフォローを実施し、各施設や企業先で集中して作業に取り組む様子や、周りの人とのコミュニケーションを広げ活躍する先輩たちの姿を伺うことが出来ました。



## ～生田東分教室偏～



# 食育

〔2年生〕生田東高校の調理室をお借りして1回行いました。

メニューは炊き込みご飯、野菜炒め、卵スープ。最終的な目標は「自分の分を調理する」ことですが、まずはグループごとに担当するメニューを決めて調理しました。計量の学習を重ねて臨んだのできちんとレシピ通りに量ることができました。盛り付けにもこだわり、おいしく見える盛り方を工夫しました。味付けもバッチリで、生徒たちはみな満足気でした。

〔1年生〕生田中学校創作活動センターの調理室をお借りして2回行いました。

1回目はカレーライス。班ごとにカレーの具材を考えて作りました。2回目は10月に行われる宿泊学習で作るうどん作り。うどんは手打ちで。具材は『肉1種類と野菜2種類は入れる』とルールを決め、何を入れるかは班ごとに相談しました。

「ほかの班とは違うものを入れたい」という思いもあって、“エリンギときくらげとしめじ”などちょっとユニークな具材を選んだ班もありました。上手にできたので宿泊の野外炊事が楽しみです。



## その他の情報



### 教職員の夏季研修

一部紹介

#### <進路先施設見学研修>

「あーる工房」「井田日中活動センター」「横浜市中福祉授産所」「ちいさな種」

#### <校内研修>

- ・外部講師による「救急救命法」「医学研修」「体育授業の支援」「聴覚障害の理解—神奈川県手話言語条例」「人権研修（スクール・セクハラ）」
- ・校内教職員が講師になる「ムーブメント」「課題分析」「ボッチャ」「教材教具」「行動観察の視点」「教材作りのためのIT活用法」「校内安全管理対応訓練（不審者侵入対応）」「職員防災訓練（DIG演習）」「インクルーシブ教育の現状と教育実践の工夫」等の講習会が開催され、教職員の専門性向上をめざしました。実技研修では大西教頭（ムーブメント上級指導員）、中川教諭（日本ボッチャ協会公認上級審判員）による指導が行われ、熱気に満ちた講習となりました。

### 夏の遊び場 in たかつ

高津第二社協の後援を得て、「エコバック作り」、「市ヶ尾高校のジャグリング部演技」が行われました。高校生ボランティアや地域の方々と共に20人の本校児童生徒が楽しいひと時を過ごしました。また、参加していた児童・生徒は、神奈川県取組「みんな集まれ2017」の動画にダンスで出演しています。「かなチャンTV」又は「You Tube」でご覧いただけます。



☆ 9月21日（木）10:00～たかつひまわり塾「生活で使えるお役立ち支援ツール」を予定しています。お知らせは、配付済です。ご参加のほど、お待ちしております。